

二年学年だより

No. 5

9月号

令和3年8月30日発行

204HR

昨年度教育実習生のS先生（体育）を覚えていますか？「リスニングが苦手だから英語系の環境で克服したい」という少し変わった理由で英語系コースを選択し、ハンドボール部で部長を務め、その運動能力を生かしてスポーツ系の学部に進学し、在学中にはラクロスで全国レベルの成果を上げ、様々な選択肢から悩んだ末にスポーツ報道関係の企業に就職して、今は東京で活躍しています。この夏私たちに感動を与えてくれたオリンピックパラリンピックの映像制作にも関わっているそうです。そんな彼女からのメッセージ、ぜひ読んでみてください😊

東京には知り合いが少なく同期入社もないので、初めは暮らすことに必死でした。でも同級生の〇〇がいるとかいう情報を得て、今までその子に関わったことなかったけど、連絡をして、よく遊ぶようになりました。

仕事については、映像を作るのは好きだったけど専門で学んできたわけではなかったので、基本的な事でも分からないことが多く、もうついていけないと思うこともありました。でもその時はいつも何でここを選んだのかとか、入社前のワクワク感（したかった仕事ができる！）を思い出すようにしています！そう考えると、自分でもっと調べようと思うし、調べても分からないものは有能な先輩達に頼ればいいや！と吹っ切れて、教えてもらうではなく聞きに行くスタイルになりました！時々「そんなことも分かんのか」とか言われて恥ずかしい思いもしますが、分からないままの方が後々恥ずかしいので、そこは笑顔で耐えています！

あとは、東京でのオリンピックパラリンピックの現場に携われていることには、とてもやりがいを感じています。沢山先輩たちと試行錯誤して制作したVTRが地上波で流されていることや、それを家族や友達が見て、感動したと言ってくれることは今までに感じたことないくらい嬉しかったです！！

私のしている仕事は、良くも悪くもダイレクトに反応をもらえるお仕事です。良い意見は素直に嬉しいですし、悪い意見でも、もっと頑張ってる！と思えるので、すごくやりがいを感じています😊！（余談ですが、サッカーメインの会社なので、内田篤人さん、北澤豪さん、森保監督、高倉監督など有名な方に時々会えますよ😊）

彼女の生き方や言葉から感じられるのは、①妥協せず努力する過程で知った自分の適性（本当に好きなことや向いていること）を見極めて選んだ仕事に対する誇り、②そうして選んだ仕事に主体的に学ぶ姿勢で取り組み、日々成長している様子、③やりたい仕事をやっていることへの純粋な喜び。（学生時代には関わりのなかった同級生と大人になってから再会して仲良くなるのも結構あるあるかも？）振り返ると、高校生の時から既に彼女にはそういう姿勢があったし、だからこそ今充実した毎日を過ごしているのだと思います。

皆さんは、今日の前にあることに精一杯取り組み、様々な自分と出会っていますか？中途半端に取り組んでいても本質は見えてきません。そして、やってみる前から「これは意味がない、自分には無理」と切り捨てないこと。何事もやってみないと分からないよ。成長のチャンスは目の前にいくらでもあります。数年後の違いは今日の1つの選択と行動から始まると思って、失敗を恐れず challenge を続けましょう！（204HR担任）



9月です。9月の和風名は「長月（ながつき）」ですね。7時を過ぎても明るかったのに、気づくと暗くなるのが早くなっている。秋を感じます。「秋の夕べは釣瓶落とし」という言葉があるぐらい、あっという間に日が暮れてしまうのが秋。「秋の夜長」という言葉どおり、秋の深まりとともに夜も長くなっていきます。9月はそうした夜が長くなる月として、「夜長月（よながつき）」と呼ばれていたものが、“夜”が抜け落ち「長月」と呼ばれるようになったと言われています。昼間は残暑も厳しいですが、夜は涼しい風も吹いてきます。勉強や読書の合間に窓を開け涼しい風を感じながら、月を眺めるのも乙なもの。月に兎が浮かび上がるかも。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる」（藤原敏行朝臣）

（204HR 副担任）